

公表

事業所における自己評価結果(児発)

事業所名	児童デイサービスいとかの杜			公表日	2026年 2月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	0	療育内容やその日の利用人数に合わせて、部屋を有効に活用しています。	児発ルームが狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	1	職員全員で協力し合っています。	送迎を担当する職員が不足する場合や、事業所で待機する職員が不足する場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	0	現在受け入れている児童の発達の度合いに応じて、自分で出来得る部分を工夫し、環境構成をし、配慮しています。	壁画など情報量が多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	1	清掃チェック表作成により、互いに清掃場所を確認しあうことが出来ています。	季節によっては、加湿器が必要を感じます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	1	児発は一人で使用できないカームダウン室を設けており、安心して子ども達が使用できるようにしています。	カームダウン室には保護された配管パイプがあり、環境構成が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	0	業務時間に支障のない限りにおいて職員が発言し参画できるようにしてます。	時間が足りず、日々の業務に追われてPDCAサイクルを回す心の余裕が職員レベルで確保できていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	0	保護者さまのご意見は真摯に受けとめ、より良い事業所運営にむけて、改善に努めています。	業務内容が多い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	0	毎週火曜日13時に職員会議と及び内部研修を行っている。その時間以外は業務時間確保の観点で最小限にしている。	急な研修に、通常業務も回らない
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	0	子どもの課題については、個別会議のみならず、モニタリング作成時にも視点をもち、定期的に分析できるようにしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	3人以上の職員で検討し、個別支援計画作成しています。この時には、原案(案)やアセスメント時の様子等提出して行われます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	3	職員間で個別支援計画を理解し、同じ関わりができるように努めています。(日誌等でその日の様子を見ることにより共有しています。)	全職員が計画を把握する時間が取れていないと思う。支援計画の情報を職員に共有できる形を考えたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	常勤職員は支援経過を入力する際に振り返りや気づいた点の情報共有が行われている。	パート職員が振り返りできるタイミングが少ないことから、意見を吸い上げる機会（職員会議以外）を設けられたらと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	0	幼・保・こども園との交流はありませんが、ことぶき荘のこども食堂への定期的参加や地域の相撲大会への参加など地域の子どもの活動を行っています。	事業所が主体となり、地域の中で他の子どもと活動する機会を設定できては無い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	対面や・ライン・電話などの方法で、子どもの毎日の様子を保護者と伝え合い、共通理解を図るように努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3	4	懇談の際に、保護者さまに対して、具体的な家庭での接し方や、子どもの行動の見取り方、そして、肯定的な話し方を個別にお伝えしています。	十分ではない。今後は、保護者向けに情報提供できる内容を増やしていこうとしている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	その他、保護者さまから相談があった時にはできる限り早く対応できるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	0		きょうだいも自由に参加できるように、遠足を企画し、家族同士の交流を図ることは可能だが、参加人数が少ないことから、再考するという課題が残る。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0		職員が写真を送り間違えたり、他児の顔にモザイクせず送信する事案が発生し、謝罪している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	0	事業所として他事業所の行事や地域のイベント、子ども食堂に参加するという意味ではできている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	0		